主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
人口１人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.21	5.17	5.13	㎡	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	86.5	85.5	82.7	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 みどりの保全については、公園緑地の維持管理に加え、既存公園の遊具更新や市民の森等の保全に向けた取り組みを進めました。また、みどりの創出については、区画整理事業の進捗に合わせた公園整備を進めるとともに、まちなかへの植栽を行いました。	・現状 公園・緑地・街路樹の維持管理や点検を行い、公園等利用者の安全性の向上を図るとともに、魅力ある公園施設を整備します。また、開発等により失われつつある市内のみどりについて、各種制度や手法を用いて保全・創出を行います。
・評価 公園や緑地、街路樹の適切な維持管理により、多くのみどりの保全を行うとともに、公園施設の点検や更新を行い、安全性の向上を図ることができました。	・課題 維持管理のさらなる効率化や迅速化を図る必要があります。また、街中のみどりを確保するため、近年の異常気象への柔軟な対応や、地権者や関係機関との円滑な協議を進める必要があります。
・改善点 近年の異常気象を踏まえ、樹木剪定や倒木への措置、植栽箇所の基盤整備などにより、適切な維持管理を行いました。また、維持管理システムを導入し、事務の効率化や措置対応の迅速化を図りました。	・取組内容 みどりの保全については、維持管理の効率化を進めるとともに、樹木管理や公園施設の点検・更新等、公園・緑地等の適切な維持管理に努めます。みどりの創出については、運動公園をはじめとした市内公園の整備を進めるとともに、民間事業者との連携による賑わいの創出に向けた準備を進めます。

みどりの保全

まちなか森づくり事業

まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組みます。
※本事業は、グリーンチェーン認定レベル2に該当する緑化率12%を目標としています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
みどりの課	16,300	12,958	3,299	5,000	0	5,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率（緑化面積／敷地面積×100%）（%）	19.53	11.50	12.00				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度に引き続き、小山小学校前の街路樹植栽を行いました。また、南流山地区街路樹の植栽工事を行いました。さらに、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行いました。	・現状 まちなかの緑視率向上に配慮し、街路樹を健全な状態に保ちます。また、グリーンチェーン取得促進に向けた事業者への指導を行います。
・評価 グリーンチェーン認定による緑化率が目標を下回る結果となりました。	・課題 近年の異常気象や維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定する必要があります。また、グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率を向上させる必要があります。
・課題に対する改善点 近年の異常気象や、維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定しました。	・取組 街路樹の植え替え等について、周辺環境や近年の気候に配慮した樹種を選定します。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行います。

みどりの保全

良質なみどりの拠点保全事業

土地所有者から借り受けている市民の森等について保全に向けた取り組みを進めるとともに、自然に触れながら散策等をできるよう、園路等の施設整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
みどりの課	228,190	27,022	3,299	6,025	4,900	1,125

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 向小金ふれあい公園の改修工事、及び三輪野山散策の森の整備工事を行いました。また、市民の森の保全に向けた取り組みを進めました。	・現状 市民の森や借地公園の保全に向け、地権者との話し合いを継続するとともに、安全で快適に利用いただけるよう、環境整備を行います。
・評価 向小金ふれあい公園の改修工事及び三輪野山散策の森の整備工事を行い、より快適な公園等の利用が可能となりました。また、市民の森の保全に向けた取り組みとして、用地取得に向け、不動産鑑定を行いました。	・課題 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。
・課題に対する改善点 市民の森や借地公園の地権者と協議の回数を増やし、良好な関係の継続に努めました。	・取組 運河散策の森の整備工事を行います。また、市民の森の保全に向けた用地取得等の取り組みを継続します。

みどりの保全

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	921	796	13,194	868	180	688	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
講習会の開催回数（回）	9	9	9	講習会への参加人数（人）	201	174	230

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 緑化に関する講習会を今年度も合計9回開催しました。また、オープンガーデンの開催を支援しました。	・現状 市民と協働でみどりの維持管理を行うため、緑化に関する講習会を今年度も開催し、市民の緑化意識の向上を図ります。
・評価 緑化に関する講習会を開催し、様々なかたちでみどりを担う人材の育成に努めました。また、オープンガーデンの支援により、多くの来訪者が訪れました。	・課題 講習会受講者が新たにボランティアとして定着せず、また、講習会の内容によって、応募者が定員に達さない講習会があります。
・課題に対する改善点 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、里山保全ボランティアの定着に努めました。	・取組 講習会のテーマを工夫し、参加者数の増加に努めます。また、オープンガーデンの開催を支援します。

みどりの創出

新たな賑わい空間創出事業	つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	30,428	69,933	6,597	128,510	128,510	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 総合運動公園の西側駐車場整備工事、植栽工事を行いました。また、総合運動公園における整備運営事業者（Park-PFI及び指定管理の事業の実施者）の募集を行い、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を行いました。	・現状 土地区画整理事業の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせた公園施設整備を行っています。
・評価 総合運動公園の再整備により、利便性と魅力が向上しました。また、総合運動公園における整備運営事業者を決定しました。	・課題 土地区画整理事業者及び総合運動公園整備運営事業者とともに、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を確実に進めていく必要があります。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業の進捗により、公園緑地整備時期の変更に柔軟に対応するため、土地区画整理事業施行者と密に協議を行い、情報を共有しました。	・取組 総合運動公園の再整備として電気設備の更新工事を行います。また、総合運動公園における整備運営事業者とともに、賑わいの創出に向けた準備を計画的に行います。

みどりの創出

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	151,136	144,588	13,194	130,509	129,589	920	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
安全点検実施率（安全点検を実施した公園件数÷安全点検対象公園件数）（%）	100	100	100	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行いました。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行いました。さらに、公園維持管理システムを構築し、事務の効率化を進めました。	・現状 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。また、既存公園の遊具等の新設・更新を行っています。
・評価 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検、補修を行い、公園利用者の安全性を確保しました。また、公園維持管理システムの構築により、事務の効率化を図りました。	・課題 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。
・課題に対する改善点 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行いました。	・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検及び、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。また、公園維持管理システムを活用し、さらなる事務の効率化及び措置対応の迅速化を図ります。

生物多様性の保全・回復

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	2,451	2,472	13,194	2,330	187	2,143

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
生物多様性啓発イベントの実施回数（回）	-	3	4	生物多様性啓発イベントの参加者数（人）	-	73	130
				グリーンウェイブ・「トラックの森づくり」事業による植樹本数（本）	118	74	190

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業の実施等を通じて、幅広い世代に対して生物多様性の重要性について啓発を実施しました。	・現状 生物多様性の啓発を行うほか、生物多様性ながれやま戦略の改定を進めています。
・評価 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等を通じて、生物多様性の価値や重要性について環境学習を行い、特に小学生や中学生等の若い世代にも生物多様性を身近に感じてもらう機会を創出することができました。	・課題 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施により、生物多様性の啓発に一定の効果を挙げる一方、住宅都市として人口増加、都市化を続ける市の姿勢とのバランスを考慮した周知が必要です。
・課題に対する改善点 効果的や生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討するため、生物多様性ながれやま戦略の改定に着手しました。	・取組 本年度中の生物多様性ながれやま戦略の改定を予定しており、住宅都市として発展を続ける本市に合った目標や取り組みの設定を検討します。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	91.2	91.2	90.5	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	74.5	74.0	71.7	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	62.4	65.1	64.1	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備の促進を図りました。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり丁寧な説明を行いました。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、景観計画の周知・啓発を行いました。	**・現状** 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり丁寧な説明を行っています。
・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席するなどし、地権者に寄り添った対応を行いました。	**・課題** 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得る必要があります。
・改善点 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得るため、丁寧な説明を行いました。良好な景観を維持・誘導していくため、流山市景観計画の周知や啓発を行いました。	**・取組内容** 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり継続的に丁寧な説明を行います。

つくばエクスプレス沿線整備の促進

運動公園周辺地区一体型 特定土地区画整理負担事業

県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	875,536	419,685	5,315	1,209,979	1,153,100	56,879

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
面積ベース進捗率（%）	47.5	48.4	51.4	駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度（%）	40.0	39.4	41.4

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図りました。	**・現状** 千葉県が実施する運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図ります。
・評価 令和6年度末の進捗は、面積ベースで約48%となりました。	**・課題** 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。
・課題に対する改善点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。	**・取組** 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図ります。

市街地のまちづくり

南流山駅周辺市街地再整備事業

南流山駅周辺の低未利用地の高度利用化と良質なまちなみの誘導などにより、南流山駅周辺の魅力を高め、本市の南の玄関口に相応しいまちづくりを進めるもの。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	0	3,795	6,597	18,019	0	18,019

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				駅周辺の住み心地の良さの満足度（%）	-	88.38	89.00
				商業・業務系用途の新築数（件）	-	5	5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 南流山駅周辺の良質なまちなみづくりを促進するため、南流山駅周辺地区まちなみづくり促進奨励金制度を創設しました。	**・現状** まちなみづくり指針の「指針1」及び「指針2」に掲げる土地の高度利用化や良質なまちなみの誘導に関して、まちなみづくり奨励金制度を創設し、取組を実施しています。
・評価 奨励金制度について、具体的な建築プランに基づく相談を複数受けました。	**・課題** まちなみづくり指針における「指針3」に関する具体的な取組が求められます。
・課題に対する改善点 奨励金制度について地元権利者や事業者に対し、制度活用に繋がるよう周知を行いました。	**・取組** 指針3に対する具体的な取組として、地区内に点在する空き店舗などの既存建築物の活用による新たな事業の創出や、不動産オーナーとまちづくりの担い手が引き合うきっかけづくりを行います。

市街地のまちづくり

建築確認台帳システム構築事業	昭和38年から平成28年までの紙の建築確認台帳及び建築計画概要書、約7万7千件分を電子化し、建築行政共用データベース及び統合型GISのシステムに組み込むことで、効率的な運用を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
建築住宅課	112,870	109,087	13,194	180,710	178,015	2,695	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				建築計画概要書等の電子化件数（件）	-	41,984	48,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化するにあたり、平成5年以降のものを電子化しました。	・現状 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化するにあたり、平成4年以前のものを電子化します。
・評価 膨大な数の建築計画概要書等を適切に電子化することに取り組めました。	・課題 令和7年度は、より古い紙ベースのものを電子化するため、情報の精査がより必要になります。
・課題に対する改善点 建築計画概要書等が紙ベースで保管されているため、スキャニング、データ入力、位置特定及びシステム設定等を行い一部の電子化を完了させました。	・取組 令和6年度と同様に建築計画概要書等の電子化を適切に行うとともに、令和8年度以降適切な運用とするため統合型GISの保守点検を計画する必要があります。

市街地のまちづくり

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業	駅利用に合った広場の改修やジェトロ跡地の活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
まちづくり推進課	215,865	591,004	26,388	300,289	266,494	33,795	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地元組織等のイベント実施回数（回）	7	7	7	駅周辺の住み心地の良さの満足度（%）	96.66	89.10	96.66
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度（%）	36.57	33.30	37.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 駅前広場拡幅における用地取得にあたっては、契約締結に向け、関係権利者に対して丁寧な説明を行いました。商店街通りの歩行者優先道路化に向け、地元住民の意向把握に努めました。	・現状 駅前広場のロータリー部分の設計が終了したことや、商店街通りの整備方針が概ね定まったことから、今後、広場部分及び商店街通りの設計に着手していきます。
・評価 駅前広場については、関係権利者に対して丁寧な説明を行い、契約締結及び関係権利者による物件の解体等が円滑に行われました。商店街通りについては、地元住民の意向を踏まえた整備の方針が概ね定まりました。	・課題 駅前広場、商店街通り及びジェトロ跡地といった主体者の異なる施設のデザインに統一感を持たせる必要があります。
・課題に対する改善点 今後取得を予定している関係権利者についても引き続き理解が得られるよう丁寧な説明を行うとともに、全体の工程に遅れが生じないよう工程管理を徹底する必要がありました。	・取組 統一感のある駅前空間となるよう、各施設の設計者同士の調整の機会を設けます。

景観形成の促進

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業	流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
まちづくり推進課	4,000	230,969	6,597	8,000	0	8,000	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業進捗率（事業費ベース：%）	40.01	65.81	66.70	良好な市街地の形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市道29024号線の工事が完了しました。	・現状 市道40137号線整備に向けて、交通量調査や実態調査と関係機関協議を進めます。
・評価 市道29024号線について、歩行者等の安全性を確保しながら工事を完了し、安全な歩行空間や休息の場の確保と更なる賑わいを創出を図りました。	・課題 市道40137号線の交通実態を踏まえた、支障のない一方通行化の整備方針を検討します。
・課題に対する改善点 市道29024号線一方通行化工事が年度末に完成したため、令和7年度早期に歩行者や車両の交通影響等を把握するための準備を行いました。	・取組 市道29024号線の調査と解析、市道40137号線の方針を検討します。

景観形成の促進

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
都市計画課	535		561	26,388	467	0	467
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数（件）	227	246	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0
景観賞の応募件数（件）	19	-	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合（%）	65.1	64.1	65.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 建築計画や開発計画における景観協議を行いました。景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行いました。	・現状 土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上の事前協議が想定されます。
・評価 景観ワークショップに約200人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。	・課題 良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。
・課題に対する改善点 景観協議や景観ワークショップにより、流山市景観計画の周知や啓発に努めました。	・取組 建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。景観賞の選定を行い、市民意識の高揚を図ります。

景観形成の促進

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
都市計画課	2,577		2,088	26,388	2,853	1,990	863
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数（件）	171	137	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数（件）	629	408	400	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合（%）	65.1	64.1	65.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 条例の規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導しました。	・現状 条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、規制内容を周知することができています。
・評価 条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物が掲出されてきました。	・課題 本市になじみの少ない広告事業者に、引き続き、規制内容の周知が必要です。また、条例の規制に適合しない広告物の是正が必要です。
・課題に対する改善点 広告物ルールブックを活用し、本市になじみの少ない広告事業者に、丁寧に規制内容を説明し、周知を行うことができました。	・取組 規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。

主管部局　土木部　　施策の目的　安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	73.0	73.3	69.9	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	73.2	73.9	73.9	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めました。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めました。	・現状 人口増加や巨大物流施設の建設等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。また、交通量の増加により舗装の劣化の進行に注視する必要があります。
・評価 安全で円滑に移動できる道路網が望まれることから、名都借跨線橋道路拡幅改良事業等の主要事業を計画的に実施し、安全で円滑な道路網の整備に努めました。今後も、引き続き計画的な事業進捗に向けて努めてまいります。	・課題 引き続き、歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。また、事業計画の周知を積極的に行い、工事エリアの安全対策を図る必要があります。
・改善点 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成に努めました。	・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めます。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めます。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・４・９号 南流山名都借線道路改良事業

都市計画道路3･4･9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことで、市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	15,210	31,145	2,786	128,061	115,735	12,326

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済み事業費（円）÷全体事業費（円）×100	23.43	27.51	47.82

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 道路予定地北側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を実施しました。	・現状 南側の路体築造工事を進めています。 路体完成後、道路改良工事と電柱移設を行う予定です。
・評価 地権者に現在の使用状況と今後の土地利用計画等を伺いながら進めました。	・課題 地権者の土地利用状況に配慮しながら工事を行う必要があります。
・課題に対する改善点 詳細設計にて現場状況調査に基づいた工法検討を進めました。	・取組 沿線の土地利用に配慮するとともに、安全を確保しながら工事を進めてまいります。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・２・２５号 下花輪駒木線道路改良事業

三郷流山橋有料道路の交通需要を考慮した広域道路が完成する・道路ネットワーク拡充に伴い、市内の円滑な移動が可能となる・道路利用者（歩行者）の安全が確保されます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	86,900	35,024	3,299	169,690	152,600	17,090

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 千葉県による道路建設について、地元調整等の事業協力を行い事業を推進しました。三郷流山橋の側道環境緑地帯や県道歩道植栽帯への植栽工事に着手しました。	・現状 関連工事について流山市ができる調整、協力を行っていきます。
・評価 千葉県と調整を図り事業を進めました。	・課題 事業の実施にあたり沿線住民等へ配慮する必要があります。
・課題に対する改善点 地元からの要望について協議を重ね対応しました。	・取組 地元の要望等を聞いて千葉県に対応を依頼します。

円滑に移動できる道路整備

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
道路建設課	362,963	334,195	13,194	296,772	267,370	29,402	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済事業費（円）÷全体事業費（円）×100	55.0	60.8	75.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 向小金2丁目側の車道橋対面通行が可能となりました。工事箇所が向小金1丁目側に移るため、「名都借跨線橋だより」の発行と工事説明会を開催し、地域への周知を行いました。	・現状 現在、向小金1丁目側北小金駅方の既設橋の撤去が完了し、新しい車道橋の設置工事を進めています。 今後は向小金1丁目側南柏駅方の既設橋を撤去し、新設車道橋の工事を進める予定です。
・評価 計画どおり工事は進捗しています。	・課題 工事範囲が変わることによる通行止めの交通規制が伴うため、周知及び安全対策が必要となっています。
・課題に対する改善点 工事エリア内に、工事用信号機及び交通誘導員を配置し、安全対策を講じました。また、歩行者が安心して通行できるよう区画線の設置等、安全対策を講じました。	・取組 案内看板の設置や「名都借跨線橋だより」にて工事内容を周知します。また、現地に工事用信号機の設置など必要な対策を講じるとともに、現場状況を注視しながら必要な対策を講じます。

円滑に移動できる道路整備

区画道路改良事業	市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄付を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。					
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	732,480	571,028	26,388	177,037	159,770	17,267

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 西深井、東深井、向小金1･2丁目、中野久木、大畔、大字鰭ケ崎、西平井等の事業箇所において、工事説明会の開催や沿線地権者等への個別説明を行い、工事、設計、測量、用地取得等を進めました。	・現状 各事業箇所における沿線地権者等に丁寧な事業説明を行い、工事や測量、用取得等を進めていきます。
・評価 各事業地区の沿線地権者等に事業概要を説明し事業を進めました。	・課題 引き続き、沿線地権者等に事業への協力を得るため丁寧な対応が求められます。
・課題に対する改善点 沿線地権者等に丁寧な事業説明を行い、事業への協力を求めました。	・取組 事業目的の達成を目指すとともに、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めます。

円滑に移動できる道路整備

東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
道路建設課	0	22,720	1,320	125,876	119,390	6,486	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済事業費（円）÷全体事業費（円）×100	68	74	85

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 対象箇所の詳細設計、用地測量及び物件調査を実施しました。	・現状 用地測量、物件調査の成果をもとに工事に必要な用地の取得が必要です。
・評価 現況の道路状況や周辺環境など、充分な把握に努めました。	・課題 沿線地権者等に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。
・課題に対する改善点 測量、調査の際に協力をいただくため、沿線地権者等に対して丁寧な説明を行う等の対応を行いました。	・取組 事業目的の達成のため、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めます。

円滑に移動できる道路整備

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	23,020	22,330	1,320	5,522	0	5,522

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝市施工済延長（m）÷市施工延長（m）×100	17.0	23.6	24.5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行いました。	・現状 自転車ネットワーク計画の内、令和6年度に約4.4kmを整備しました。 令和7年度は0.7kmの整備を予定しています。
・評価 近隣市の整備状況を考慮し、整備を進めました。	・課題 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。
・課題に対する改善点 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握に勤めました。	・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・４・８号 美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3･4･8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	189,763	96,069	1,320	1,610	0	1,610

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済み事業費（円）÷全体事業費（円）×100	13.25	88.16	88.87

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 用地取得及び補償契約が完了しました。	・現状 沿線地権者等の土地の使用に配慮しながら、取得した用地の管理と樹木伐採を行います。
・評価 沿線地権者等の土地利用に配慮しながら進めました。	・課題 上下水道局で雨水函渠工事を実施するため、時期調整しながら事業を実施する必要があります。
・課題に対する改善点 沿線地権者等の土地利用に配慮し、丁寧に協議・説明を行いました。	・取組 上下水道局と協議し、沿線地権者等の土地利用について配慮します。

安全で快適な道路環境の確保

道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路管理課	514,000	540,748	26,388	545,282	401,140	144,142

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
道路舗装補修延長（m）	6,141	5,394	5,960	情報提供および要望件数（件）	1,815	3,390	2,000
情報処理件数（件）	404	294	280	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合（%）	75	77	80

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。	・現状 舗装修繕計画に則り、補修対象路線の舗装修繕を実施しています。 また、その他自治会や市民からの情報提供により、舗装の状態の確認を行い必要に応じた修繕等の措置を実施しています。
・評価 道路延長約5,390mの道路補修を実施しました。	・課題 現況交通を考慮した定期的な点検を実施し、より効率的な予防保全型の舗装管理計画の策定します。
・課題に対する改善点 重量車両の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行度の変化や現況の交通に耐えうる舗装の補修方法の検討が必要となります。	・取組 補修対象箇所において、現況交通に応じた舗装構成等の見直しや設計・補修を実施していきます。

安全で快適な道路環境の確保

橋りょう補修事業	流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路管理課	17,470	30,099	26,388	76,940	41,656	35,284

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
橋りょう補修工事件数（件）	1	2	3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 措置対象橋りょうの補修工事を実施します。	・現状 令和5年度に策定した橋りょう長寿命化計画に則って補修対象橋りょうの修繕を実施しています。
・評価 長寿命化計画においてIII判定を受けた橋りょう2橋の修繕を実施しました。	・課題 補修対象橋りょうの修繕実施率の向上が課題です。
・課題に対する改善点 補修対象橋りょうの工事発注時期の見直しや関係機関と密に協議を実施し、実施可能な工事件数を増やすことに努めます。	・取組 定期的な橋りょう点検を実施し、適正な管理に努めます。

主管部局　土木部　　施策の目的　大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.3	15.38	15.47	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 道路冠水対策として、おおたかの森西地区の雨水排水施設に着手しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。
・評価 こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数個所冠水が発生しています。
・改善点 桝つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組内容 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	135,600	135,600	13,929	229,500	229,500	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	0.13	0.09	0.44				
運動公園周辺地区内の雨水整備率（%）	47.5	48.4	49.3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 土地区画整理施行者の千葉県と年度協定を締結し、運動公園周辺地区内の雨水排水施設を整備しました。	・現状 予定している雨水工事は、土地区画整理事業施行区域内での地権者等の調整があり予定通り進みません。
・評価 運動公園周辺地区内の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて雨水工事を行うため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるので、千葉県との連絡調整を密に行いました。	・取組 土地区画整理施行者である千葉県と連絡調整を行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。

雨水排水施設の整備

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 令和7年度　排水管整備（長崎）等 令和8年度　排水管整備等（東深井）等 令和9年度　排水管整備等

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	142,010	116,029	10,556	111,570	103,200	8,370

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
道路冠水対策に関する工事件数（件）	2	4	2	内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 道路冠水対策として、おおたかの森西地区の雨水排水施設に着手しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。
・評価 こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。
・課題に対する改善点 桝つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

流山排水機場改修事業	流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 令和4年度　商用電源予備ルートの確保 令和5年度　商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修 令和6年度　除塵機の塗装工事

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	15,372	50,246	5,278	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
施設改修工事の件数（件）	1	1	-	工事の進捗率（%）	100	100	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 除塵機の塗装工事を行いました。	・現状 施設の老朽化が進んでいます。
・評価 除塵機の塗装工事が完了しました。	・課題 更新時期や整備補修・更新費用等の平準化・最小化を図るため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的・効率的な維持管理が必要です。
・課題に対する改善点 除塵機の塗装劣化により排水機場の運転に支障が生じる前に塗装工事が完了しました。	・取組 排水機場の排水設備保守点検を行います。

河川環境の整備

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 令和7年度　修繕工事等 令和8年度　修繕工事等 令和9年度　修繕工事等

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	27,578	26,894	4,618	31,227	0	31,227

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
河川施設の維持補修に関する工事件数（件）	2	3	2	憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合（%）	81.9	78.5	80.0
維持管理システム導入による情報処理達成件数（件）	-	-	75	維持管理システム導入による平均対応日数（日）	-	-	6.5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 効率的な補修を行い、水路や河川施設の適切な機能維持に努めました。	・現状 職員によるパトロールや施設点検により、河川施設の老朽箇所の早期発見に努めます。
・評価 各樋管の防護柵の補修を実施し、施設の破損等に起因した転落事故を未然に防ぐことができました。	・課題 河川施設の老朽化による補修の優先度を見極め、効率的に補修を行う必要があります。
・課題に対する改善点 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応することができました。	・取組 引き続き効率的な補修を行い、河川施設の適切な管理に努めます。

河川環境の整備

利根運河エコパーク関連事業	利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和5年度　飛び石橋とトイレ整備などの設計 令和6年度　飛び石橋などの工事 令和7年度　トイレ整備などの工事

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	58,410	15,550	6,597	42,000	33,300	8,700

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業に関する設計及び工事件数（件）	1	1	1	工事の進捗率（%）	-	15	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 飛び石橋整備工事の発注を行いました。	・現状 利根運河の利便性向上のため、トイレの設置工事を行います。
・評価 飛び石橋の整備工事を実施しました。	・課題 利根運河の利便施設の安全性及び景観の配慮に努めます。
・課題に対する改善点 利根運河の管理者である国土交通省江戸川河川事務所と適宜協議を進めました。	・取組 利根運河利用者及び近隣住民に配慮し、皆様の憩いの場となる水辺空間を創出します。

主管部局　上下水道局　　施策の目的　安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	95.3	96.0	93.7	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	93.3	93.7	94.3	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 流山市下水道事業経営戦略の改定を行いました。公共下水道を約23ha整備しました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事を令和7年度の完成に向け施工しました。	・現状 浄水場の老朽化が進んでいます。公共下水道の既成市街地の普及率が94%を超え、令和7年度には汚水管の概成が達成される見込みとなりました。令和7年度からの流域下水道維持管理負担金の単価改定や物価上昇により、下水道事業の経営状況が悪化することが見込まれています。
・評価 下水道事業経営戦略を改定し、今後の工事予定や流域下水道維持管理負担金の単価改定をふまえ、財政シミュレーションを行った結果、下水道使用料の見直しを検討する必要があることが分かりました。下水道整備については、令和7年度の概成に向け計画的に整備を進めました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事は、令和7年度中の完成に向け工事を行いました。	・課題 老朽化が進む各浄水場の整備を計画的に実施する必要があります。既成市街地の概成が達成され、今後は、大規模災害に備え、既設下水道管路を計画的に改築していく予定です。また、下水道事業の経営状況の悪化に対応するため、適正な下水道使用料への改定が必要です。
・改善点 流山市下水道事業経営戦略の見直しは、令和6年度に予定されている流域下水道維持管理負担金の単価改定を見込んで見直しを行いました。下水道未整備区域は、狭隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要し、一部を翌年度に繰り越しました。おおたかの森浄水場には配水池が1池でありますが、安定供給や災害等のメンテナンスを考え、配水池の増設工事を行いました。	・取組内容 西平井浄水場水処理施設更新工事及びおおたかの森浄水場中央監視システム更新工事に着手します。公共下水道を計画的に整備するほか、若葉台団地汚水管改築工事を行います。また、流山市下水道料金の見直しに取り組みます。

安全な水道水の安定供給

ＴＸ沿線整備地区配水管拡張事業

TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	119,975	119,975	7,257	131,940	119,055	12,885

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
配水管布設延長（m）	1,319.6	1,971.2	2,005.0	整備率（%）	47.1	49.5	53.2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度の繰越工事として、令和6年度は1,971.2mの工事を行いました。	・現状 令和6年度末の整備率は49.5%です。
・評価 令和6年度末の整備率が49.5%になりました。	・課題 土地区画整理事業者の造成工事に併せて水道を施工するため、造成工事の進捗状況により、水道整備に影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせながら、整備率の向上に努めました。	・取組 令和6年度の繰越工事と合わせて、令和7年度はL=2908.5mの工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

老朽配水管等耐震化事業

配水管の耐用年数を50年と設定し、総延長約700kmある配水管を毎年2%ずつ更新し、耐震化率100%にすることを目標にしています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	273,812	223,713	7,257	468,578	0	468,578

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
整備延長（m）	820.0	1,713.0	3,380.7	耐震管適合率（%）	63.1	64.0	66.0
				漏水発生件数（件）	354	343	300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は、L=1,713.0mの老朽管改良工事を行いました。	・現状 令和6年度末の耐震性のある配水管の延長は、約456.4kmです。
・評価 令和6年度末の耐震化率が64.0%になりました。	・課題 管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。
・課題に対する改善点 管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。	・取組 令和7年度は、L=3,380.7mの工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

主要配水管等耐震化事業

安全な水の安定供給のために、約50kmある主要配水管等を計画的に更新し、令和11年度までに耐震化率100%にすることを目標にしています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	227,808	262,273	7,257	362,868	0	362,868

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
整備延長（m）	1,236.4	1,072.1	1,147.1	耐震化適合率（%）	56.8	57.9	58.8

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

令和6年度は、L=1,072.1mの主要管改良工事を行いました。

・評価

令和6年度末の耐震化率は57.9%になりました。

・課題に対する改善点

管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

令和6年度末の耐震性のある主要配水管等の延長は、約29.2kmです。

・課題

管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。

・取組

令和7年度は、L=1,147.1mの主要管改良工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

上下水道料金徴収等業務委託事業

水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
経営業務課	168,168	168,168	7,917	168,168	0	168,168

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
給水契約件数（件）	89,453	91,146	92,800	不納欠損処理件数：水道料金（件）	207	168	150
下水道契約件数（件）	82,394	84,355	86,300	不納欠損処理件数：下水道使用料（件）	174	174	160

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めました。

・評価

滞納者への取組み及びスマホ決済サービスの浸透により、不納欠損処理件数は減少しました。

・課題に対する改善点

市外転居滞納者への督促、催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認について困難を極めているため、早期に滞納者への対応をし、退去未納を事前に防止する取組を行いました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。

・課題

市外転居滞納者への督促・催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認が困難を極めています。

・取組

滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加させることにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。

安全な水道水の安定供給

浄水場更新事業

令和7年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	806,500	303,630	13,194	562,870	393,700	169,170

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
おおたかの森浄水場配水池有効容量(m3)	10,500	10,500	21,000	配水池築造工事進捗率(%)	22.1	53.4	100.0

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

配水池の躯体工事に着手しました。

・評価

配水池の基礎、底盤、側壁、歩廊工事が完了しました。

・課題に対する改善点

施工中の来庁者の安全に配慮し、庁舎と施工エリアをバリケードで区分しました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

昨年度から継続し工事を推進します。

・課題

昨年度から引き続き、施工中の来庁者の安全に配慮する必要があります。

・取組

令和7年度の完成に向けて工事を推進します。

安全な水道水の安定供給

浄水場中央監視システム更新事業	おおたかの森浄水場の中央監視システムを更新します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	0		0	13,194	160,261	112,100	48,161
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
中央監視システム更新工事進捗率（%）	-	-	17.3	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合（%）	-	94	94

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 これから工事に着手する段階です。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 既設システムの運転に配慮する必要があります。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 中央監視システム更新工事に着手します。

計画的な下水道事業の推進

地区内汚水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	265,700		265,700	13,194	92,000	92,000	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	4.97	0.09	5.91	下水道（汚水）整備率（%）	81.31	82.90	83.90

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と年度協定を締結し、造成計画に応じた整備展開を図っていきました。	・現状 土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり、予定通り進みません。
・評価 前年度からの繰り越し事業により、今年度の工事は予定の半分以下でした。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるので、千葉県との調整を行いました。	・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。

計画的な下水道事業の推進

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	778,162		778,162	13,194	733,626	684,000	49,626
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	19.64	13.72	6.53	公共下水道普及率（%）	93.70	94.29	95.50
各年度の整備延長（m）	3,115	3,074	2,132	公共下水道水洗化率（%）	93.72	94.16	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,074mで面積13.72haを行いました。	・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和7年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。
・評価 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,074mで面積13.72haを行いました。	・課題 令和6年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができました。	・取組 令和7年度の公共下水道整備は、延長2,132mで面積6.53haを行います。

計画的な下水道事業の推進

手賀沼流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	435,317		435,317	6,597	247,797	247,000	797
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	9.51	15.04	-	公共下水道普及率（%）	93.70	94.29	95.50
各年度の整備延長（m）	2,428	3,975	-	公共下水道水洗化率（%）	93.72	94.16	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,975mで面積15.04haを行いました。	・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和7年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。
・評価 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,975mで面積15.04haを行いました。	・課題 令和6年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができていました。	・取組 前年度以前に整備した舗装工事を行います。

計画的な下水道事業の推進

浄化槽設置事業	浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	72,700		72,700	5,744	97,308	64,092	33,216
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
合併処理浄化槽の転換基数（基）	50	46	50	利根運河地区の普及率（%）	34.0	47.6	63.7
合併処理浄化槽の設置残数（基）	666	620	570				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 合併処理浄化槽の転換工事は、46基を行いました。	・現状 汚水適正処理構想による浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽等が、約700基存在し、これらを合併処理浄化槽に転換する公共用水域の水質改善が急務となっています。
・評価 合併処理浄化槽の転換工事は、46基を行いました。	・課題 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。
・課題に対する改善点 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況から最大30万円を上乗せ補助することにより、転換基数の促進を図りました。	・取組 「利根運河等水質改善モデル事業（流山市浄化槽整備促進計画）」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。

計画的な下水道事業の推進

ストックマネジメント事業	下水道管路施設の計画的な維持管理、改築・更新を進めます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	186,500		186,500	9,896	448,738	382,000	66,738
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
点検延長（km）	5.25	5.20	11.50				
改築延長（km）	0.2	0.2	0.6				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 若葉台団地の改築工事の一部を実施しました。	・現状 公共下水道の管路総延長は、約590kmとなっています。50年以上経過した下水道管路は、旧コミュニティープラント地区となっています。
・評価 若葉台団地の改築工事240mを行いました。	・課題 老朽化した管路が年々増加傾向にあります。
・課題に対する改善点 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあり、計画的な点検・調査を行いました。	・取組 平和台団地等の管路点検及びカメラ調査を11.5km行います。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.9	81.0	79.7	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2021（R3）年度、2022（R4）年度、2023（R5）年度	152,367 ※	171,694 ※	184,851 ※	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,287	2,643	2,490	人	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、沿線区市から首都圏新都市鉄道に対し要望書を提出したほか、期成同盟会を設立しました。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の整備を円滑に進めるため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携を図りました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃の適正な運用を図りました。	・現状 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけています。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の令和7年12月の供用に向け、工事を進めています。流山ぐりーんバスについては、運行継続に向け、収支率を注視するとともに需要確保策の検討に努めています。
・評価 つくばエクスプレス東京駅延伸については、期成同盟会の働きかけにより、茨城県及び沿線区市議会議長が同盟会に参加し、延伸実現に向け前進しました。初石駅施設整備については、東武鉄道と工程管理を共有することにより、計画どおり工事を進捗させました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃を適正な大人運賃の収入として取り扱うことにより、収支率の改善及び次年度の運行継続を実現しました。	・課題 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、期成同盟会の組織力を強化し機運を高めることが重要です。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進めることが必要です。流山ぐりーんバスについては、運行経費の上昇に対応するため、安定した収入の確保が必要です。
・改善点 つくばエクスプレス東京駅延伸については、首都圏新都市鉄道への要望活動に加え、期成同盟会を設立し、沿線区市の結束力及び沿線都県への働きかけを強化しました。初石駅施設整備については、東武鉄道及び施工業者と毎月の工程会議を実施しました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃を、本来あるべき大人運賃として取り扱うこととしました。	・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、引き続き沿線都県に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、関係機関との意見交換や活発な要望活動等を行います。初石駅施設整備については、引き続き東武鉄道と工程管理を共有し、計画的な工事進捗を図ります。流山ぐりーんバスについては、毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策の検討を行います。

広域交通ネットワークの充実

ＴＸ東京駅延伸促進事業

つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	0	0	2,639	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
TX沿線都市での会議等の開催回数（回）	6	5	5	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員（人）（数値は、R4年度、R5年度）	349,000	383,000	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 つくばエクスプレス沿線7市首長会議を通じ、車両編成8両化、東京駅延伸の実現に係る事業費や需要予測の調査実施、通学定期券の運賃引き下げを要望しました。東京駅延伸の早期実現に向け、沿線区市による期成同盟会を設立しました。	・現状 つくばエクスプレス沿線都市首長懇談会を毎年開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけています。
・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。茨城県及び沿線区市議会議長が期成同盟会に参加し、東京駅延伸の実現に向け前進しました。	・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。期成同盟会の組織力を強化し機運を高めるため、沿線都県等の期成同盟会への積極的な参加が必要です。
・課題に対する改善点 沿線区市による期成同盟会を設立し、沿線区市の結束力及び沿線都県への働きかけを強化しました。	・取組 引き続き、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、関係機関との意見交換や活発な要望活動等を行います。

広域交通ネットワークの充実

初石駅施設整備事業

東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎並びに駅前広場の整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	728,321	979,171	3,299	997,200	532,324	464,876

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業進捗率（事業費ベース：%） ※自由通路及び橋上駅舎	7.2	47.7	100.0	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0
				初石駅の1日平均乗降人員（人） （数値はR4年度、R5年度）	17,628	18,482	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事を円滑に進めるため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携を図りました。	・現状 自由通路及び橋上駅舎の令和7年12月の供用に向け、工事を進めています。
・評価 東武鉄道と工程管理を共有し、計画どおり工事を進捗させました。	・課題 自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進めることが必要です。
・課題に対する改善点 東武鉄道及び施工業者と毎月の工程会議を実施しました。	・取組 引き続き東武鉄道と工程管理を共有し、計画的な工程進捗を図ります。

広域交通ネットワークの充実

鉄道設備整備補助事業	流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を支出し支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	7,594	7,594	660	2,452	0	2,452

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
鉄道設備更新率（%） ※累計	31	50	62	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的に補助金を支出しました。	・現状 流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいます。
・評価 通信ケーブル更新や軌道修繕工事が一部完了し、輸送安全性が向上しました。	・課題 鉄道設備の更新工事等について金銭的な支援が必要です。
・課題に対する改善点 鉄道設備の更新工事等に対する補助金を継続しました。	・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的かつ継続的な補助金の支出に努めます。

地域公共交通ネットワークの充実

ぐりーんバス運行事業	鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	90,915	83,971	3,959	77,533	0	77,533

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
利用促進啓発活動回数（お散歩マップ・自治会回覧）（回）	-	-	1	流山ぐりーんバスの年間利用者数（人）	965,002	906,655	906,655
				収支率全ルート平均（%）	58.0	64.8	63.3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 高齢者割引利用者の運賃の適正な運用を図りました。流山ぐりーんバス高齢者割引証を発行しました。	・現状 運行継続に向け収支率を注視するとともに、需要確保策の検討に努めています。
・評価 高齢者割引利用者の運賃を適正な大人運賃の収入として取り扱うことにより、収支率の改善及び次年度の運行継続を実現しました。高齢者割引利用時に必要な保険証の新規発行停止に先立ち、高齢者割引証を発行することにより、割引制度を円滑に継続させました。	・課題 運行経費の上昇に対応する安定的な収入を確保するため、需要確保策の検討が必要です。
・課題に対する改善点 高齢者割引利用者の運賃を、大人運賃として適正に取り扱うこととしました。	・取組 毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策を検討します。

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通活性化事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	35,024	29,711	13,194	14,567	0	14,567

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数（回）	10	8	8	公共交通に満足している市民の割合（%）	81.0	79.7	80.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 マタニティタクシー利用助成制度の申請を電子化するとともに、新たに産婦健診を助成対象としました。八木南団地及び流山本町における新たな移動手段の方向性を示し、地域住民及び交通事業者と協議・検討を行いました。	・現状 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を実施しています。デマンドタクシー及びグリーンスローモビリティの導入に向け、地域住民及び交通事業者と協働で検討を進めています。
・評価 マタニティタクシー利用助成制度の申請の電子化や助成対象者の拡充により、妊産婦の移動に関する不安の軽減に努めました。八木南団地及び流山本町におけるアンケート結果を分析し、地域に適した移動手段の検討を進めました。	・課題 各制度の分かりやすいリーフレットの作成等、制度対象者に合わせた環境づくりが必要です。公共交通検討地域を中心に、新たな移動手段の検討が必要です。
・課題に対する改善点 マタニティタクシー利用助成制度の申請を電子化し、制度利用者にやさしい環境づくりを行いました。新たに産婦健診を助成対象とし、申請期間を2か月間延長しました。	・取組 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。デマンドタクシー及びグリーンスローモビリティの早期導入に向け、地域住民及び事業者と協働で検討を進めます。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課） ※1　R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(※1)	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2018(H30)年度 ※2：2023(R5)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	2.7(※2)	%	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 地域住民が安心して住み続けられるよう、生活環境に深刻な影響が懸念される管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。また、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行い、建物の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図りました。	・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。
・評価 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行い、建物の耐久性・安全性の向上と長寿命化を図りました。	・課題 適切な時期に修繕及び改善等を実施するためにも、建物等の点検を随時実施し、点検結果等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。空き家対策については市民や空家所有者等に対し、継続的に空き家問題の意識啓発が必要になります。
・改善点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。	・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。また、市内の管理不全空家等の解消にも努め、地域住民が安心して住み続けられる環境の確保に努めます。

住生活の安定と向上

市営住宅整備事業

安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
建築住宅課	15,004	19,951	2,639	29,202	29,202	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市営住宅管理戸数（戸）	449	445	445				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地3号棟の屋上防水工事を行いました。	・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。
・評価 計画的に改善工事等を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。	・課題 市営住宅の状況等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。
・課題に対する改善点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。	・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。

空き家対策の推進

空き家対策事業

適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
建築住宅課	0	0	1,980	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
空き家問題に関する通報件数（件）	93	101	80	空き家に対する改善指導件数（件）	74	74	40

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行いました。	・現状 空家等対策計画の沿って取り組みを進めています。
・評価 情報提供があった101件の空家等に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空家等74件に改善指導及び助言を行い、49件改善されました。	・課題 管理不全空家等の発生を抑制・予防します。
・課題に対する改善点 空家問題の意識啓発に効果的なデザインのリーフレットを作成しました。	・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行います。

主管部局　環境部　　施策の目的　地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	<R4まで>平成19（2007）年度の排出量を100 とした場合の指数 <R5以降>計画の改定に伴い基準年度を変更、平成25(2013)年度の排出量を100とした場合の指数　※上段は民生家庭(2007:165 2013:215)、下段は民生業務。	118 159 (R2年度分)	91 105 (R3年度分)	96 118 (R4年度分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（ながれやままちづくり達成度アンケート※H30年度のみ市民意識調査）	32.0	31.1	28.0	%	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 二酸化炭素排出量の削減に向け、幅広い世代に対して環境学習に関する事業を実施したほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを実施しました。不法投棄パトロール、路上喫煙等パトロールなどにより、生活環境の保全に取り組みました。	**・現状** ゼロカーボンシティを目指し、市内最大級の事業者として脱炭素へ積極的な取組みを進めつつ、市民や事業者に向けた働きかけや、補助制度など多様な手段で取り組みを後押ししています。不法投棄パトロール、路上喫煙パトロールのほか、環境保全のための調査を実施しています。
・評価 二酸化炭素排出量の削減に対して市全域で課題感を持つ必要があるため、事業者と脱炭素の取り組みを協調する仕組みである脱炭素貢献パートナー制度を開始しました。不法投棄やポイ捨て等への対応のほか、PFAS調査を実施するなど環境保全に対応しました。	**・課題** 補助制度等の積極的な周知により、二酸化炭素排出量の削減のための取り組みにおける費用負担の軽減を図る必要があるほか、導入後の結果として電力使用量の削減や機器運用の低下によるメリット等を織り交ぜた効果的な周知を行う必要があります。また、生活環境保全のため、時勢に合わせた周知等を行う必要があります。
・改善点 補助制度による二酸化炭素排出量の削減効果を生み出し、かつ対象設備等による実績のばらつきを低減させるため、広報やHPを活用した周知を図るとともに、開発事業者との協議の際に案内するなど制度の効果向上に努めました。空地の雑草対策について、電子サービスによる受付を開始し、場所確認の効率化を図るとともに市民サービスの向上に努めました。	**・取組内容** ゼロカーボンシティを目指し、まずは市役所が市内最大級の事業者として脱炭素への強力な取り組みを実施して主体的役割を担うほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押しします。ターゲットをしぼった周知や事務手続きのオンライン化など、負担軽減を目指しつつ、効果的な対策を実施していきます。

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策事業

地球温暖化対策実行計画に基づき、市民や市内事業者に対し、戸建て、集合住宅、事業所への太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。また、令和7年度から窓の断熱改修に対しての補助額を実質2倍とするなど、新たな制度運用の実施を通じ、地球温暖化対策に取組んでいます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	31,743	15,499	19,791	35,126	15,200	19,926

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数（件）	210	190	200	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量（t-CO2）	306	315	389

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市民環境講座や緑のカーテンを通じて地球温暖化対策の重要性の周知を行うとともに、各種省エネ設備等の導入に対する補助制度の作成、周知を行い啓発に努めました。	**・現状** 2050年度二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、市全域で脱炭素の取り組みを推進します。
・評価 市民環境講座や緑のカーテンを通じて高齢者から小学生に至るまで幅広い世代に地球温暖化対策の重要性を周知したほか、太陽光発電設備の導入をはじめとして、一定数の補助制度の利用申請がありました。	**・課題** 市民や事業者に対して地球温暖化対策の取り組みの重要性に一定の理解を得られた一方、実行にあたっては予算や優先度の問題もあり積極性が認められない状況があります。
・課題に対する改善点 各事業を継続して実施することにより、地球温暖化対策の重要性を幅広く市民、事業者に周知を続け、効果や重要性について横展開を図りました。	**・取組** 社会情勢に合った補助制度の運用を続けるほか、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市民や事業者と一体となった市全域での省エネ性能の向上に努めます。

生活環境の保全

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業

路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	10,943	10,716	1,980	9,823	312	9,511

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
路上喫煙等防止指導件数（件）	166	159	200	路上喫煙等防止過料件数（件）	113	114	80

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 年間を通してパトロールを実施し、路上喫煙防止に努めました。路上喫煙及びポイ捨てが特に多い南流山駅周辺や流山おおたかの森駅周辺では、ティッシュ配布による啓発活動を行いました。また、つくばエクスプレス線南流山駅にご協力いただき、駅構内にて啓発用音声の放送を実施しました。	**・現状** 南流山駅周辺など路上喫煙及びポイ捨てが多い箇所について、これ以上悪化しないよう関係各課や民間事業者等と協力して周知啓発の強化等を行う必要があります。
・評価 パトロール強化や啓発活動の実施により、一定の抑止効果はあったものの、前年度と比べ大きな変化は見られず、依然として路上喫煙やポイ捨てが発生しています。	**・課題** 乗り換え駅である南流山駅周辺では、特に市外の方の路上喫煙の割合が多く、また、ポイ捨ても依然として多い状況です。
・課題に対する改善点 路上喫煙やポイ捨てが特に多い南流山駅周辺を中心に、民間事業者の協力も含めた啓発活動を実施し、路上喫煙やポイ捨て防止に努めました。	**・取組** 南流山駅周辺の清掃回数を増やすなど、ポイ捨てされにくい場所となるような対策を実施します。また、路上喫煙が多い市外の方への周知啓発を行う対策に取り組みます。

主管部局　環境部　　施策の目的　ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
１人１日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	795	770	742	g	↓
資源化率	資源化率の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	28.7	27.2	28.5	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 令和5年度末に見直しした新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保しました。	**・現状** 従来の粗大ごみ予約方法にオンライン受付を準備、また、事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。
・評価 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金制度などによるごみの減量・資源化の推進並びに事業系廃棄物の受入基準見直しに基づき作成した事業系廃棄物処理ガイドブックにより、家庭系及び事業系ごみの排出量削減に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保に努めました。	**・課題** 令和7年12月より開始予定の粗大ごみオンライン受付について、広く市民が利用できるよう啓発を行う必要があります。また、引き続き事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化および適正処理について啓発を行う必要があります。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。
・改善点 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発を行いました。ごみ焼却施設については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行い、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定したごみ処理を確保しました。	**・取組内容** 粗大ごみオンライン受付について、広報ながれやま、市ホームページ等で市民に対し周知を図るとともに、事業所に対しては事業系一般廃棄物の減量等について引き続き啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。

ごみの減量化・資源化の推進

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料化処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	221,239	224,374	9,042	222,173	1,569	220,604

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
リサイクル団体登録数（団体）	254	252	255	集団回収量（t）	8,202	7,915	7,793
リサイクル講座（教室）開催数（回）	52	46	64	リサイクル講座（教室）の参加者数（人）	438	295	350

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを利用し、市民に対して資源化や資源回収についてより詳細な周知を図り、ごみの減量・資源化の促進を図りました。	**・現状** 資源回収率は平成30年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えている中で、さらなるごみの減量・資源化の促進に努める必要があると捉えています。
・評価 資源化率は、平成30年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えており、広報等を通じ、ごみの減量・資源化の促進に努めました。	**・課題** 資源回収について、よりわかりやすい資料や説明が必要だと捉えています。
・課題に対する改善点 出前講座や減量等推進員に向けてごみの減量等にかかるわかりやすい資料を作成し自治会等内でのごみの減量・資源化の啓発を図りました。	**・取組** 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを活用し、資源化や資源回収についてより詳細にわかりやすく啓発していきます。

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	322,036	320,658	9,042	322,781	322,781	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				1人1日当たりのごみ発生量（g/1人・日）※実績値は前年度の数値を使用	770	742	720

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 事業系廃棄物の見直しに関わるお問合せダイヤルを設置するなど、事業者への丁寧な対応に努めました。	**・現状** リチウムイオン電池等の安心、安全な回収及びリサイクルに努めます。
・評価 事業系廃棄物の受入基準について事業者へ説明等を行うことで、ごみの減量・資源化を図りました。	**・課題** 誤った出し方によって、収集・運搬、または処分の過程において火災の原因になるものと捉えています。
・課題に対する改善点 お問合せダイヤルを設置や事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めました。	**・取組** 広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、減量等推進員会議やごみ分別促進アプリを活用し、周知に努めます。

一般廃棄物の適正処理

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	440,000		495,563	10,630	370,000	0	370,000
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
修繕費用（千円）	66,932	495,563	10,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数（件）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。	・現状 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。
・評価 令和5年度から着工した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。	・課題 令和5年度から着工している基幹的設備改良工事と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、密に調整を図る必要があります。
・課題に対する改善点 令和5年度から着工している延命化整備と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、基幹的設備改良工事と運転管理に係る調整を密に実施しました。	・取組 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。

一般廃棄物の適正処理

廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	3,611,454		3,250,309	19,791	2,225,575	2,208,490	17,085
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況（%）	27.0	72.2	100	C02排出量の削減率（%）	2.39	6.40	8.86

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めました。	・現状 長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施することで、施設の延命化を図ります。
・評価 工事の進捗及び基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上の削減ともに工程どおりに工事を実施しました。	・課題 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備を運転管理に係る調整を密に図る必要があります。
・課題に対する改善点 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備と運転管理に係る調整を密に図りました。	・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理当に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めます。

一般廃棄物の適正処理

一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	11,000		5,126	19,791	2,071	0	2,071
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
一般廃棄物処理基本計画策定業務の進捗状況（%）	-	73.3	100	流山市廃棄物対策審議会開催回数（回）	-	4	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 現計画で設定した中間目標の達成に向けて実施した個別施策の達成状況を評価し、長期的・総合的視点に立った計画の策定を行いました。	・現状 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて現計画を平成31年3月に策定しており、環境省の「ごみ処理基本計画策定指針」では概ね5年ごとに改定することとされています。
・評価 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針並びに市民参加の手法として流山市廃棄物対策審議会に意見を徴取しながら、長期的・総合的視点になった計画の策定に努めました。	・課題 人口増を踏まえ安定的なごみ処理を継続するため、ごみ減量・資源化を推進するまた、近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、計画を見直すにあたり地勢を鑑みながら策定する必要があります。
・課題に対する改善点 近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、見直しを行うにあたっては地勢を鑑みながら策定しました。	・取組 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針に基づき、市民参加の手法を取り入れながら長期的・総合的視点に立った計画の策定に努めます。

一般廃棄物の適正処理

森のまちエコセンター施設整備事業	森のまちエコセンターの施設の安定稼働を継続していくため、施設の定期点検整備を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	0	12,397	9,896	109,680	9,680	100,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
点検整備・修繕費用（千円）	98,905	125,647	100,000	機器類の不具合に伴う施設の稼働停止件数（件）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 し尿処理施設及び剪定枝資源化施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。	・現状 森のまちエコセンターでは、市内で発生したし尿汚泥及び剪定枝等の廃棄物を適正に処理するため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。
・評価 定期点検整備及び修繕業務を適正に実施したことで、安全かつ安定したし尿・浄化槽汚泥及び剪定枝の処理を実施することができました。	・課題 開業から16年目を迎え、老朽化した設備・機器類においては突発的な故障が発生していることから計画的な設備の更新が必要となります。
・課題に対する改善点 し尿処理施設及び剪定枝資源化施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、適切な整備を実施しました。	・取組 施設の安定稼働を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。

一般廃棄物の適正処理

粗大ごみ予約オンライン化事業	粗大ごみの戸別収集予約をインターネットから可能にし、粗大ごみ処理手数料の納付方法に電子決済を導入することにより、市民の利便性向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	0	0	6,597	2,628	0	2,628

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				オンライン申請件数（件）	-	-	1,600

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 現状、粗大ごみ戸別収集の予約手段は電話予約のみであるが、令和7年12月よりオンラインで予約・決済が完結できるようシステムを整備し、市民の利便向上を図ります。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 市民に対して粗大ごみのオンライン予約を広く周知し、利用率を上げることが必要だと捉えています。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 広報ながれやまや、市ホームページ等で周知し、多くの市民の方が利用できるように努めます。